

鳩森だより

HATOMORI ELEMENTARY SCHOOL

TEL

FAX

ホームページ

(3352)3780

(3352)4810

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310246>

【教育目標】
感じ かかわり つくる

7月号



渋谷区立鳩森小学校
令和8年6月30日

「子ども主体の学校づくり」が生み出すもの

副校長 石亀 太一

渋谷区では、「子どもたちが主体的に自校の運営に携わったり、学びを自らつくり出したりする力の育成」を目指しています。学校でも昨年以上に力を入れ、さらなる推進を図っています。

『子ども主体』の取組として、4つの領域【①学習面(授業、家庭学習など、学びのあらゆる場面で主体性を促進する)②生活面(日々の過ごし方、居場所づくりなど、生活領域を自分たちで考える)③行事面(運動会や宿泊行事などの学校行事を、子どもたちが企画・運営する)④役割面(クラブ活動や委員会など、自分の所属コミュニティを自ら選択し活動する)】が挙げられていますが、大人主体(大人が決定した形式に参加)⇒大人と協働(大人が主導するが、子どもと意見交換しながら一緒に物事を決定する)⇒子ども主体(子ども自ら企画・主導し大人と一緒に意思決定を行う)と、徐々にレベルを上げようとしています。

4月。まず、クラブ活動や委員会活動、たてわり班活動について、「今までやっていたから」ではなく、「この活動は何のためにやるのか」、「どうしていきたい？」を子どもたちが考え、自分の活動として取り組む」ことができるようにすることを大切にしました。

5、6月。スポーツフェスティバルや子どもまつりでは、より子どもの主体性を発揮できるように投げかけたことで、子どもたちは「先生に言われたことだけでなく、自分の考え、行動で、自分たちで相談して考えたことで、新しいもの、楽しいことをつくり出すことができるんだ！」と大きな達成感・充実感を得られたように思います。

そして、夏休み前、7月。宿泊行事やシブヤ未来科(テーマ探究・マイ探究)に向けた取組が活発になってきました。宿泊では、子どもたちが「クラス替えがないメンバーの中、お互いがどのような心配りをし、より和を大切に、どのようにみんなで楽しむのか」「楽しさは与えられるものではなく、自分たちでつくり出していくものなんだ」について一生懸命に考えていると聞きます。シブヤ未来科では、「子ども自身が問いを立て、自分事として捉え、考え、対話し、判断し、試し、振り返り、改善していく」プロセスを繰り返す中で学びを深めていくことができるように、先生方が環境を整え、学びを共につくる存在として伴走することを意識することで、子どもたちの学び方が変わってきています。

例年、夏休みにPTA主催のサマースクールがありますが、今年度は、子どもたちから「運営に参画して盛り上げたい」という動きが出ました。また、「地域行事にみんなで参加して楽しもう」という呼びかけもありました。「自分たちの行動で学校をよりよく変えたり、地域や社会に貢献したりすることができるんだ！自分は役立っているんだ！」という思いが大きくなり育んだ力が、これからの社会や未来をつくる力につながってってくれることを願っています。